

金融機関向け IFRS ニュース 2021 年 4 月

クリックで、トーマツの HP へ

デロイトが発信する [IAS Plus](#) の情報等のうち、特に金融機関に関連性の高い情報（IFRS 関連に加え、日本基準や USGAAP 関連であっても関心が高そうな情報を含む）を日本語で集約しております（ 1 ）。

< 今月のハイライト >

金利指標改革

n [デロイトによる『LIBOR の移行 - フォールバック条項の運用』の掲載](#)

デロイト英国事務所の金融業界の専門家による当記事では、2021 年 3 月 5 日に金融行為規制機構（FCA）が主要な LIBOR 通貨の公表を 2021 年 12 月 31 日をもって停止する旨を公表したことを受けて、フォールバック条項の運用に際し検討すべき事項について概説しています。

n [デロイトによる『金利指標改革：データ及びアナリティクス』の掲載](#)

デロイト英国事務所の金融業界の専門家による当記事では、代替的な指標金利への移行を成功させるために不可欠となる適切なデータ及び分析ツールについて、その開発に係る経験の一部を紹介しています。

サステナビリティ

n [バーゼル銀行監督委員会（BCBS）による気候関連の金融リスクに関する分析報告書の公表等](#)

バーゼル銀行監督委員会は、気候関連の金融リスクについて 2 つの報告書を公表しました。

1. 「気候関連のリスク要因及びその波及経路」

気候関連のリスク要因がどのように生じ、ミクロ経済及びマクロ経済の波及経路を通じてどのように銀行及び銀行システムの双方に影響を及ぼすのかを検証。

2. 「気候関連の金融リスク - 測定方法」

気候関連の金融リスクの測定及び技法に関連する概念的な論点の概要、並びに銀行及び銀行監督当局による実務における適用状況の紹介。気候関連の金融リスクの特徴として、きめ細かく将来予測的な測定方法、及びこれまでの短期的で信用リスクに主眼を置いた測定に加え、より長期的な視点や他のリスクの検討等も求められることに触れている。

合わせて今月は、IFRS 財団評議員会が（国際サステナビリティ基準審議会の設立を可能とする）定款の変更案を公表し、欧州委員会が企業サステナビリティ報告指令案を公表するといった動きがありました。

暗号資産

n [EFRAG による暗号資産（負債）に関する調査の開始](#)

EFRAG は、ディスカッション・ペーパー「暗号資産（負債）の会計処理：保有者及び発行者の視点」に関する調査を開始しました。

< 今月の記事一覧 >

カテゴリ	発信元 (2)	記事のタイトル (3)
新型コロナ ウイルス感染症	【IASB】	IASB が、ニュースレター『Investor Update』（新型コロナウイルス感染症に関連した企業分析に係るアナリストの考察を含む）を公表しました。
金利指標 改革	【DTT】	『LIBOR の移行 - フォールバック条項の運用』が掲載されました。
		『金利指標改革：データ及びアナリティクス』が掲載されました。
サステナ ビリティ	【IFRS Foundation】	IFRS 財団評議員会が（国際サステナビリティ基準審議会の設立を可能とする）定款の変更案を公表しました。
	【BCBS】	バーゼル銀行監督委員会（BCBS）が気候関連の金融リスクに関する分析報告書を公表しました。
	【EC】	欧州委員会（EC）が企業サステナビリティ報告指令案を公表しました。
	【DTT】	『目的に基づく事業報告 in Focus - 欧州委員会が企業サステナビリティ報告指令案を公表』が掲載されました。
保険契約	【DTT】	『気候変動及び卸売保険ブローカー業』が掲載されました。
企業結合	【EFRAG】	EFRAG が共通支配下の企業結合に関するブリーフィングを公表しました。
暗号資産	【EFRAG】	EFRAG が暗号資産（負債）に関する調査を開始しました。
連結	【IASB】	グループ会計基準に関する適用後レビューのバーチャル・ワークショップの動画が公表されました。
		IFRS 第 10 号、第 11 号及び第 12 号の適用後レビューに関する EAA（欧州会計学会）のワークショップのレポート及びビデオが公表されました。
後発事象	【DTT】	デロイトが、企業がもはや継続企業ではない場合の財務諸表の作成に関する IFRS 解釈指針委員会の暫定的なアジェンダ決定についてコメントしました。
外国為替	【DTT】	『IFRS in Focus - IASB は、通貨が交換可能である場合および交換可能でない場合に為替レートを決定する方法を特定する IAS 第 21 号の修正を提案する』が掲載されました。
全般	【ESMA】	欧州証券市場監督局（ESMA）が、2020 年の EU における会計執行機関の活動及び発見事項に関する報告書を公表しました。
	【トーマツ】	金融庁が「連結財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則に規定する金融庁長官が定める企業会計の基準を指定する件」等の一部改正（案）を公表しました（金利指標改革、リース及び保険契約関連）。
会議	【IASB】	2021 年 4 月の IASB 会議の議事メモ（DTT 作成）が掲載されました。
	【IFRIC】	2021 年 4 月の IFRS 解釈指針委員会会議の議事メモ（DTT 作成）が掲載されました。
	【IFRS Foundation】	IFRS 財団が、IFRS 解釈指針委員会によるアジェンダ決定のコンプレーション（第 4 巻）を公表しました。

ワーク・プラン	【IASB】	IASB がワーク・プランを更新しました - 変更点の分析（2021 年 4 月の会議）
コンバー ジェンス	【ASBJ】	第 455 回企業会計基準委員会の概要（投資信託の時価の算定に関する取扱い、及びリースに関する会計基準の開発を含む）が公表されました。
		第 454 回企業会計基準委員会の概要（リースに関する会計基準の開発を含む）が公表されました。

- 1 公式の翻訳ではありませんので、参考情報としてご活用ください。なお、時制は、各記事の掲載時点のものとなります。
- 2 発信元の正式名称は末尾の < 凡例 > をご参照ください。
- 3 < 今月のハイライト > で取り上げた記事をハイライトしています。

< 記事本文 >

新型コロナウイルス感染症

（2021 年 4 月 21 日）

[【IASB】IASB が、ニュースレター『Investor Update』（新型コロナウイルス感染症に関連した企業分析に係るアナリストの考察を含む）を公表しました。](#)

当ニュースレター（約 18 ページ相当）は、最近の会計トピック、及び、財務報告関連トピックを、投資家向けに簡潔にまとめています。

以下のトピックが含まれています。

- n 「In profile」にて、資本市場諮問委員会（CMAC）メンバーのアナリストが、新型コロナウイルス感染症に関連して、企業分析における過去の危機と今回の危機の相違点や、企業が提供する情報のうち有用なものと有用でないものの例等について述べています。

当文書は[こちら](#)（IASB のウェブサイト）

[今月の記事一覧へ](#)

金利指標改革

（2021 年 4 月 1 日）

[【DTT】『LIBOR の移行 - フォールバック条項の運用』が掲載されました。](#)

デロイト英国事務所の金融業界の専門家による当記事では、2021 年 3 月 5 日に金融行為規制機構（FCA）が主要な LIBOR 通貨の公表を 2021 年 12 月 31 日をもって停止する旨を公表したことを受けて、フォールバック条項の運用に際し検討すべき事項について概説しています。

[今月の記事一覧へ](#)

（2021 年 4 月 19 日）

[【DTT】『金利指標改革：データ及びアナリティクス』が掲載されました。](#)

デロイト英国事務所の金融業界の専門家による当記事では、代替的な指標金利への移行を成功させるために不可欠となる適切なデータ及び分析ツールについて、その開発に係る経験の一部を紹介しています。

[今月の記事一覧へ](#)

サステナビリティ

(2021年4月30日)

[【IFRS Foundation】IFRS 財団評議員会が（国際サステナビリティ基準審議会の設立を可能とする）定款の変更案を公表しました。](#)

IFRS 財団評議員会は、財団のガバナンスの下で国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）を設置することを可能にするため、財団の定款の修正案（全42ページ）を公表しました。

合わせて、サステナビリティに関するコンサルテーション（グローバルなサステナビリティ基準に対する需要及び当該基準の策定において財団が果たす役割の評価を目的とするもの）に寄せられた主なメッセージをまとめたフィードバック・ステートメント（全34ページ）も公表されています。

当記事原文の和訳は[こちら](#)（トーマツのウェブサイト）

デロイトが当変更案を解説するニュースレターの日本語訳『IFRS in Focus - IFRS 財団の評議員会は、国際サステナビリティ基準審議会に対応するためにIFRS 財団の定款の修正を提案する』（全6ページ）は[こちら](#)（同上）

定款の修正案は[こちら](#)（IASBのウェブサイト）

定款の修正案のASBJの日本語のサイトは[こちら](#)（ASBJのウェブサイト）

フィードバック・ステートメントは[こちら](#)（同上）

[今月の記事一覧へ](#)

(2021年4月14日)

[【BCBS】バーゼル銀行監督委員会（BCBS）が気候関連の金融リスクに関する分析報告書を公表しました。](#)

バーゼル銀行監督委員会は、気候関連の金融リスクについて2つの報告書を公表しました。

n [「気候関連のリスク要因及びその波及経路」](#)（全45ページ）

当報告書では、気候関連のリスク要因がどのように生じ、ミクロ経済及びマクロ経済の波及経路を通じてどのように銀行及び銀行システムの双方に影響を及ぼすのかを検証している。

n [「気候関連の金融リスク - 測定技法」](#)（全56ページ）

当報告書では、気候関連の金融リスクの測定及び技法に関連する概念的な論点の概要、並びに銀行及び銀行監督当局による実務における適用状況について紹介している。気候関連の金融リスクの特徴として、きめ細かく将来予測的な測定技法、及びこれまでの短期的で信用リスクに主眼を置いた測定に加え、より長期的な視点や他のリスクの検討等も求められることに触れている。

[今月の記事一覧へ](#)

(2021年4月21日)

[\[EC\] 欧州委員会 \(EC\) が企業サステナビリティ報告指令案を公表しました。](#)

欧州委員会は、非財務情報開示指令 (Non-Financial Reporting Directive : NFRD) の改訂作業の一環で、[企業サステナビリティ報告指令 \(Corporate Sustainability Reporting Directive : CSRD\) 案](#) (全 66 ページ) を公表しました。

欧州委員会は、2022年12月1日までに加盟国が CSRD を国内法に移行するよう提案しています (これにより、2023年1月1日以後開始する事業年度に初めて修正が適用されることとなります)。

主な提案には、以下が含まれます。

- n CSRD の対象範囲について、NFRD の対象範囲である 11,600 から、EU 域内の海外子会社を含む約 49,000 に大幅に拡大
- n 欧州サステナビリティ報告基準 (2022年10月までに第一の基準を、その翌年には第二の基準を策定予定) を用いた報告及び監査 (限定的保証) の義務化

詳細は[こちら](#) (EC のウェブサイト)

[今月の記事一覧へ](#)

(2021年4月30日)

[\[DTT\] 『目的に基づく事業報告 in Focus – 欧州委員会が企業サステナビリティ報告指令案を公表』が掲載されました。](#)

当ニュースレター (全 6 ページ) は、欧州委員会が公表した企業サステナビリティ報告指令案について説明しています。

[今月の記事一覧へ](#)

保険契約

(2021年4月20日)

[\[DTT\] 『気候変動及び卸売保険ブローカー業』が掲載されました。](#)

デロイト英国事務所の金融業界の専門家による当記事では、気候変動が保険ブローカーに多くの重要なリスクをもたらす一方、多くのビジネス・チャンスも創出する旨について説明しています。

[今月の記事一覧へ](#)

企業結合

(2021年4月30日)

[\[EFRAG\] EFRAG が共通支配下の企業結合に関するブリーフィングを公表しました。](#)

EFRAG は、共通支配下の企業結合の会計処理に関する IASB の議論を促進するためのブリーフィング・ペーパー (全 21 ページ) を公表しました。

ブリーフィング・ペーパーは[こちら](#)（EFRAG のウェブサイト）

[今月の記事一覧へ](#)

暗号資産

（2021 年 4 月 2 日）

[\[EFRAG\] EFRAG が暗号資産（負債）に関する調査を開始しました。](#)

EFRAG は、ディスカッション・ペーパー「暗号資産（負債）の会計処理：保有者及び発行者の視点」に関する調査を開始しました。

詳細は[こちら](#)（EFRAG のウェブサイト）

EFRAG のディスカッション・ペーパーの ASBJ の日本語のサイトは[こちら](#)（ASBJ のウェブサイト）

[今月の記事一覧へ](#)

連結

（2021 年 4 月 15 日）

[\[IASB\] グループ会計基準に関する適用後レビューのバーチャル・ワークショップの動画が公表されました。](#)

IASB は、2021 年 3 月 26 日に欧州会計学会（EAA）及び欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）と共同で、バーチャル・リサーチ・ワークショップを開催し、2020 年 12 月に公表された IFRS 第 10 号「連結財務諸表」、IFRS 第 11 号「共同支配の取決め」及び IFRS 第 12 号「他の企業への関与の開示」の適用後レビューの概要について説明しました。

録画（約 120 分）は[こちら](#)（IASB のウェブサイト）

[今月の記事一覧へ](#)

（2021 年 4 月 7 日）

[\[IASB\] IFRS 第 10 号、第 11 号及び第 12 号の適用後レビューに関する EAA（欧州会計学会）のワークショップのレポート及びビデオが公表されました。](#)

IASB は EAA と共同でワークショップを開催し、IFRS 第 10 号「連結財務諸表」、IFRS 第 11 号「共同支配の取決め」及び IFRS 第 12 号「他の企業への関与の開示」の適用後レビューに関する情報要請の概要を説明しました。

詳細は[こちら](#)（EAA のウェブサイト）

[今月の記事一覧へ](#)

後発事象

（2021 年 4 月 14 日）

[\[DTT\] デロイトが、企業がもはや継続企業ではない場合の財務諸表の作成に関する IFRS 解釈指針委員会の暫定的なアジェンダ決定についてコメントしました。](#)

2021 年 2 月の IFRS 解釈指針委員会による企業がもはや継続企業ではない場合の財務諸表の作成に関する暫定的なアジェンダ決定について、デロイトがコメント・レター（全 1 ページ）を公表しました。

デロイトは、当論点に関する基準設定プロジェクトを作業計画に追加しないという IFRS 解釈指針委員会の決定を支持するとしています。

[今月の記事一覧へ](#)

外国為替

（2021 年 4 月 23 日）

[\[DTT\] 『IFRS in Focus - IASB は、通貨が交換可能である場合および交換可能でない場合に為替レートを決定する方法を特定する IAS 第 21 号の修正を提案する』が掲載されました。](#)

当ニュースレター（全 5 ページ）は、2021 年 4 月に IASB が公表した公開草案 ED/2021/4「交換可能性の欠如」（IAS 第 21 号「外国為替レート変動の影響」の修正案）に示された提案を解説しています。

当ニュースレターの和訳は[こちら](#)（トーマツのウェブサイト）

当公開草案の ASBJ の日本語のサイトは[こちら](#)（ASBJ のウェブサイト）

[今月の記事一覧へ](#)

全般

（2021 年 4 月 6 日）

[\[ESMA\] 欧州証券市場監督局（ESMA）が、2020 年の EU における会計執行機関の活動及び発見事項に関する報告書を公表しました。](#)

当レポート（全 79 ページ）は、上場企業が提供した財務情報が 2020 年に適用される財務報告フレームワークに準拠しているかを検証する際に ESMA 及び EU の会計執行機関が実施した調査活動を概説しています。

詳細なレポートは[こちら](#)（ESMA のウェブサイト）

[今月の記事一覧へ](#)

（2021 年 4 月 30 日）

[\[トーマツ\] 金融庁が「連結財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則に規定する金融庁長官が定める企業会計の基準を指定する件」等の一部改正（案）を公表しました（金利指標改革、リース及び保険契約関連）。](#)

金融庁は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則に規定する金融庁長官が定める企業会計の基準を指定する件（平成 21 年金融庁告示第 69 号）」の一部改正（案）（全 1 ページ）を公表しました（コメント期限：2021 年 5 月 29 日（土）17 時 00 分）。

当改正（案）では、IASB が 2021 年 3 月 31 日までに公表した国際会計基準を連結財務諸表規則第 93 条に規定する指定国際会計基準とすることが提案されており、主な会計基準は以下のとおりです。

- n IFRS 第 9 号「金融商品」、IAS 第 39 号「金融商品：認識及び測定」、IFRS 第 7 号「金融商品：開示」、IFRS 第 4 号「保険契約」及び IFRS 第 16 号「リース」の修正（2020 年 8 月 27 日公表）
- n IFRS 第 16 号「リース」の修正（2021 年 3 月 31 日公表）
- n IFRS 第 17 号「保険契約」の修正（2020 年 6 月 25 日公表）

なお、公布の日から適用するとしています。

詳細は[こちら](#)（金融庁のウェブサイト）

[今月の記事一覧へ](#)

会議

（2021 年 4 月 30 日）

[\[IASB\] 2021 年 4 月の IASB 会議の議事メモ（DTT 作成）が掲載されました。](#)

2021 年 4 月 27 日・28 日に開催されたビデオ会議では、以下を含むトピックが議論されました。

n [動的リスク管理](#)

< 議論の結果 >

Y 銀行に焦点を当てたアウトリーチにおけるフィードバックを、以下のトピックごとに分析した結果について審議会が行った議論に基づき、スタッフが今後の計画を策定する。

- 目標プロフィール
- 期待キャッシュ・フローに基づく金融資産及び金融負債の指定、及び期限前償還に係る仮定の変更の不完全な一致の認識及び測定への影響
- 公正価値の変動をその他の包括利益（Other Comprehensive Income：OCI）で認識すること

n [のれん及び減損](#)（暫定決定なし）

< ディスカッション・ペーパー「企業結合 - 開示、のれん及び減損」のフィードバック >

Y 合理的なコストでより効果的な減損テストを設計すること、及びのれん償却を再度導入すべきかどうかについての議論は行われず、今後の会議に持ち越された。

n [資本の特徴を有する金融商品](#)

< 暫定決定 >

Y 以下に関する情報を開示するというスタッフの提案を支持する。

- 主要な契約条件（資本に分類される金融商品のうち負債に似た要素、負債に分類される金融商品のうち資本に似た要素、複合金融商品の構成要素の分類を決定する負債及び資本に似た要素の開示を含む）
- 普通株式の交付により決済され得る金融商品から生じる潜在的な普通株式の希薄化（例：転換社債、企業自身の資本に係るデリバティブ）

< 議論の結果 >

Y 以下に関する情報を開示するというスタッフの提案について、追加の分析を実施するよう指示した。

- 清算（例：清算時の優先順位を含むカテゴリごとに分解された資本構成）

なお、[IASB Update](#)（IASBによる当会議の議事録）の日本語訳が、以下のASBJのウェブサイトにて公表されています。

日本語訳は[こちら](#)（ASBJのウェブサイト）

詳細なアジェンダは[こちら](#)

スタッフ・ペーパーは[こちら](#)（IASBのウェブサイト）

[今月の記事一覧へ](#)

（2021年4月23日）

[【IFRIC】2021年4月のIFRS解釈指針委員会会議の議事メモ（DTT作成）が掲載されました。](#)

2021年4月20日に開催された当会議では、以下を含むトピックが議論されました。

n [IFRS第9号「金融商品」 - 実質金利に起因するキャッシュ・フローの変動可能性のヘッジ](#)

< 審議会の検討を求めるアジェンダ決定 >

Y インフレ指数に基づく実質金利の変動から生じるキャッシュ・フローの変動性のヘッジは、キャッシュ・フロー・ヘッジとして会計処理することができない旨のアジェンダ決定を、一部文言を修正のうえ最終化する。

Y 同時に、懸念が提起されたことを受けて、当論点をIASBに報告する。

n [IAS第1号「財務諸表の表示」 - 特約条項付きの債務の流動又は非流動への分類](#)

< 暫定決定 >

Y 当論点に関するIAS第1号の適用結果について、大半のフィードバックが懸念を表明したことを受け、アジェンダ決定の最終化は行わず、代わりに当論点をIASBに付託する。

なお、[IFRIC Update](#)（IASBによる当会議の議事録）の日本語訳が、以下のASBJのウェブサイトにて公表されています。

日本語訳は[こちら](#)（ASBJのウェブサイト）

詳細なアジェンダは[こちら](#)

スタッフ・ペーパーは[こちら](#)（IASBのウェブサイト）

[今月の記事一覧へ](#)

（2021年4月28日）

[【IFRS Foundation】IFRS財団が、IFRS解釈指針委員会によるアジェンダ決定のコンピレーション（第4巻）を公表しました。](#)

IFRS 財団は、2020 年 10 月から 2021 年 3 月までの IFRS 解釈指針委員会によるすべてのアジェンダ決定を含む「アジェンダ決定のコンピレーション - 第 4 巻」(全 16 ページ)を公表しました。

詳細は[こちら](#) (IASB のウェブサイト)

[今月の記事一覧へ](#)

ワーク・プラン

(2021 年 4 月 30 日)

[\[IASB\] IASB がワーク・プランを更新しました - 変更点の分析 \(2021 年 4 月の会議\)](#)

2021 年 4 月の IASB 会議の結果を受けて、ワーク・プランが変更されました。

< 主な変更点 >

n メンテナンス・プロジェクト

Y IFRS 第 16 号と Covid-19 : IFRS 基準の修正を受け削除

Y 交換可能性の欠如 (IAS 第 21 号「外国為替レート変動の影響」の修正案) : 公開草案に対するフィードバックの検討を 2021 年下半期に予定 (2021 年 4 月 20 日の公開草案の公表を受けて)

n リサーチ・プロジェクト

Y 動的リスク管理 : プロジェクトの方針決定 (予定期日の記載なし)

Y のれん及び減損 : プロジェクトの方針決定を 2021 年 5 月に変更 (変更前 : 2021 年 4 月)

Y IFRS 第 9 号の適用後レビュー (分類及び測定) : 情報要請を 2021 年第 3 四半期に変更 (変更前 : 2021 年下半期)

n その他のプロジェクト

Y サステナビリティ報告 : 公開草案のフィードバックを 2021 年第 4 四半期に検討予定 (新規)

ワーク・プランは[こちら](#) (IASB のウェブサイト)

[今月の記事一覧へ](#)

コンバージェンス

(2021 年 4 月 15 日)

[\[ASBJ\] 第 455 回企業会計基準委員会の概要 \(投資信託の時価の算定に関する取扱い、及びリースに関する会計基準の開発を含む\) が公表されました。](#)

ASBJ は、2021 年 4 月 13 日に開催された第 455 回企業会計基準委員会の審議資料を公表しました。

以下を含む検討が行われました。

- n 投資信託の時価の算定に関する公開草案に寄せられたコメントへの対応についての説明、及び第 165 回金融商品専門委員会（2021 年 4 月 5 日開催）における検討状況踏まえた審議
- n リース取引に関する会計基準及び同適用指針を改正する場合の貸手の会計処理等の文案のイメージについての説明、及び第 99 回リース会計専門委員会（2021 年 4 月 8 日開催）における検討状況も踏まえた IFRS 第 16 号「リース」と整合性を図る程度の方向性などについての審議

[今月の記事一覧へ](#)

（2021 年 4 月 1 日）

[\[ASBJ\] 第 454 回企業会計基準委員会の概要（リースに関する会計基準の開発を含む）が公表されました。](#)

ASBJ は、2021 年 3 月 25 日に開催された第 454 回企業会計基準委員会の審議資料を公表しました。

以下を含む検討が行われました。

- n 開発する基準の IFRS 第 16 号「リース」の内容と整合性を図る程度についてコンセンサスを得るための、リース会計基準及び適用指針を改正する場合の文案のイメージ

[今月の記事一覧へ](#)

< 凡例 >

略称	正式名称
AAOIFI	イスラム金融機関会計監査機構（Accounting and Auditing Organization for Islamic Financial Institution）
AASB	オーストラリア会計基準審議会（Australian Accounting Standards Board）
ABAF	ベルギー財務アナリスト協会（Association Belge des Analystes Financiers）
Accountancy Europe	欧州会計士連盟（Accountancy Europe）
AcSB	カナダ会計基準審議会（Canadian Accounting Standards Board）
AIAF	イタリア金融アナリスト・コンサルタント協会（Associazione Italiana degli Analisti e Consulenti Finanziari）
AICPA	米国公認会計士協会（American Institute of Certified Public Accountants）
ANC	フランス国家会計基準局（Autorité des Normes Comptables）
AOSSG	アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（Asian-Oceanian Standard Setters Group）
ARC	会計規制委員会（Accounting Regulatory Committee）
ASAF	会計基準アドバイザー・フォーラム（Accounting Standards Advisory Forum）
ASBJ	企業会計基準委員会（Accounting Standards Board of Japan）
ASCG	ドイツ会計基準委員会（Accounting Standards Committee of Germany）
BCBS	バーゼル銀行監督委員会（Basel Committee on Banking Supervision）
BEIS	英国ビジネス・エネルギー・産業戦略省（UK Department for Business, Energy and Industrial Strategy）
BIS	国際決済銀行（Bank for International Settlements）

CAQ	監査品質センター（Center for Audit Quality）
CDP	気候開示プロジェクト（Carbon Disclosure Project）
CDSB	気候変動開示基準委員会（Climate Disclosure Standards Board）
CFA	CFA 協会認定証券アナリスト（Chartered Financial Analyst）
CMAC	資本市場諮問委員会（Capital Market Advisory Committee）
DPOC	デュープロセス監視委員会（Due Process Oversight Committee）
DTT（又は）デロイト（ 4）	デロイト トウシュ トーマツ（Deloitte Touche Tohmatsu）
EAA	欧州会計学会（European Accounting Association）
EBA	欧州銀行監督機構（European Banking Authority）
EC	欧州委員会（European Commission）
ECB	欧州中央銀行（European Central Bank）
ECON	経済通貨委員会（Committee on Economic and Monetary Affairs）
EDTF	開示強化タスクフォース（Enhanced Disclosure Task Force）
EEG	新興経済グループ（Emerging Economic Group）
EFFAS	欧州証券アナリスト協会連合会（European Federation of Financial Analysts Societies）
EFRAG	欧州財務報告諮問グループ（European Financial Reporting Advisory Group）
EIOPA	欧州保険・年金監督機構（European Insurance and Occupational Pensions Authority）
ESAs	欧州監督機構（European Supervisory Authorities）
ESMA	欧州証券市場監督局（European Securities and Markets Authority）
ESRB	欧州システミック・リスク理事会（European Systemic Risk Board）
FAP	タイ会計士連盟（Federation of Accounting Professions）
FASB	財務会計基準審議会（Financial Accounting Standards Board）
FCA	金融行為規制機構（Financial Conduct Authority）
FDIC	米連邦預金保険公社（Federal Deposit Insurance Corporation）
FinREC	財務報告執行委員会（Financial Reporting Executive Committee）
FRB	連邦準備制度理事会（Board of Governors of the Federal Reserve System）
FRC	英国財務報告評議会（Financial Reporting Council）
FSA	金融庁（Financial Services Agency）
FSB	金融安定理事会（Financial Stability Board）
FSI	金融安定研究所（Financial Stability Institute）
GPF	世界作成者フォーラム（Global Preparers Forum）
GPPC	6 大会計事務所ネットワークによるグローバル・パブリック・ポリシー委員会（Global Public Policy Committee）
GRI	グローバル・レポートング・イニシアティブ（Global Reporting Initiative）
HKICPA	香港会計士協会（Hong Kong Institute of CPAs）
IAASB	国際監査・保証基準審議会（International Auditing and Assurance Standards Board）
IAIS	保険監督者国際機構（International Association of Insurance Supervisors）
IASB	国際会計基準審議会（International Accounting Standards Board）
IBA	ICE ベンチマーク・アドミニストレーション（ICE Benchmark Administration）

ICAEW	イングランド・ウェールズ勅許会計士協会 (Institute of Chartered Accountants in England and Wales)
ICAI	インド勅許会計士協会 (Institute of Chartered Accountants of India)
ICAS	スコットランド勅許会計士協会 (Institute of Chartered Accounting of Scotland)
ICE	インターコンチネンタル取引所 (Intercontinental Exchange)
ICPAK	ケニア公認会計士協会 (Institute of Certified Public Accountants of Kenya)
IFASS	会計基準設定主体国際フォーラム (International Forum of Accounting Standard Setters)
IFIAR	監査監督機関国際フォーラム (International Forum of Independent Audit Regulators)
IFRIC	IFRS 解釈指針委員会 (International Financial Reporting Interpretations Committee)
IFRS Advisory Council	IFRS 諮問会議 (IFRS Advisory Council)
IFRS Foundation	IFRS 財団 (IFRS Foundation)
IFRS Foundation Trustees	IFRS 財団の評議員会 (IFRS Foundation Trustees)
IIGCC	気候変動に関する機関投資家グループ (Institutional Investors Group on Climate Change)
IIRC	国際統合報告評議会 (International Integrated Reporting Council)
IOSCO	証券監督者国際機構 (International Organization of Securities Commissions)
IPTF	国際実務タスクフォース (International Practices Task Force)
ISAR	国際会計・報告基準専門家政府間作業部会 (Intergovernmental Working Group of Experts on International Standards of Accounting and Reporting)
ISSB	国際サステナビリティ基準審議会 (International Sustainability Standards Board)
IVSC	国際評価基準審議会 (International Valuation Standards Council)
JICPA	日本公認会計士協会 (Japanese Institute of Certified Public Accountants)
KASB	韓国会計基準委員会 (Korea Accounting Standards Board)
MASB	マレーシア会計基準審議会 (Malaysian Accounting Standards Board)
NCUA	全米信用組合管理機構 (National Credit Union Administration)
OCC	米通貨監督庁 (Office of the Comptroller of the Currency)
OIC	イタリア会計基準設定主体 (Organismo Italiano di Contabilità)
PAFA	汎アフリカ会計士協会 (Pan African Federation of Accountants)
PIOB	公益監視委員会 (Public Interest Oversight Board)
PRA	英国健全性監督機構 (Prudential Regulatory Authority)
SASB	米国サステナビリティ会計基準審議会 (Sustainability Accounting Standards Board)
TCFD	気候関連財務情報開示タスクフォース (Task Force on Climate related Financial Disclosures)
UKEB	英国エンドースメント審議会 (UK Endorsement Board)

UNCTAD	国連貿易開発会議（United Nations Conference on Trade and Development）
UNEP FI	国連環境計画・金融イニシアティブ（United Nations Environment Programme Finance Initiative）
WEF	世界経済フォーラム（World Economic Forum）
WSS	世界会計基準設定主体（World Standard-setters）

- 4 「DTT（又は）デロイト」は、有限責任監査法人トーマツを含むデロイトのグローバルネットワーク組織を意味するものであり、「トーマツ」は有限責任監査法人トーマツのみを意味しています。

<お問い合わせ先>

有限責任監査法人トーマツ

金融インダストリーグループ

坂田響（kyo.sakata@tohmatu.co.jp）、中井宏美（hiromi.nakai@tohmatu.co.jp）



[Home](#) | [利用規定](#) | [クッキーに関する通知](#) | [プライバシーポリシー](#)

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ税理士法人、DT 弁護士法人およびデロイト トーマツ コーポレート ソリューション合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約 30 都市以上に 1 万名を超える専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト（www.deloitte.com/jp）をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）のひとつまたは複数指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTL および DTTL の各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTL はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは DTTL のメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける 100 を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、リスクアドバイザー、税務およびこれらに関連するプロフェッショナルサービスの分野で世界最大級の規模を有し、150 を超える国・地域にわたるメンバーファームや関係法人のグローバルネットワーク（総称して“デロイトネットワーク”）を通じて Fortune Global 500® の 8 割の企業に対してサービスを提供しています。“Making an impact that matters”を自らの使命とするデロイトの約 312,000 名の専門家については、（www.deloitte.com）をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。また DTTL、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に係して直接また間接に発生したいかなる損失および損害に対して責任を負いません。DTTL ならびに各メンバーファームおよびそれらの関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。

© 2021. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.